

令和 8 年 11 月 5 日

門信徒 各位

潮見寺門信徒会 会長 平国寛己

年末年始ご法要等のご案内

年の瀬も近く、急に肌寒くなってまいりました。皆様には何かとご多用の毎日かと拝察申し上げます。

さて、年末年始のご法要が下記の通り勤修されますので、皆様お誘い合わせの上、ご参詣くださいます様ご案内申し上げますとともに、無事に越年・新年をお迎え下さいませ。

記

1. 除夜会

12 月 31 日(木) 午後 8 時から

今年も如来さまに見守られて一年を過ごさせて頂きました。大晦日に感謝のお参りをしましょう。

2. 元旦会

1 月 1 日(金) 午前 7 時から

令和 9 年も如来さまのお慈悲で育てられることへの感謝とご挨拶をし、門信徒一同に会して新年のご挨拶をいたしましょう。寒い中に、朝陽が心地よい法要です。是非、ご参拝ください。

3. ご文章・お鏡開き

1 月 4 日(月) 午後 2 時から

蓮如上人のご文章を拝読・拝聴し、お供えの鏡餅を参拝者みんなで一緒に頂きます。是非、ご参拝ください。

4. ご正忌報恩講

1 月 16 日(土) 午後 1 時から

宗祖親鸞聖人のご遺徳に報恩する法要です。
法話の講師は住職が勤めます。

-
- ☆ “月のことば” を配布します。
 - ☆ 12 月 29 日 (火) 午後 1 時 30 分から、鏡餅などの “餅つき” を皆様と行います。お誘い併せの上、ふるってご参加ください。
 - ☆ 願成閣・第二願成閣の掃除を 12 月 20 日 (日) 午前 9 時 30 分から行います。
 - ☆ 1 月 16 日は、法要前の掃除・準備を当日朝 8 時より行います。お手伝い頂ける方は よろしく願います。お聴聞させて頂くみなでご法要を作りましょう。
 - ☆ 春の永代経法要は、2 月 20 日 (土) 講師に東隅組 願成寺馬立出張所 藤 清道師を迎え勤修致します。

<伝道>

この身は、いまは、ときはまりて候へば、さだめてさきだちて往生し候はんずれば、

浄土にてかならずかならずまぢまるらせ候ふべし

「会う」と「待つ」では、意味が異なります。「会う」はお浄土で再会する動作を表す言葉です。「待つ」は、お浄土で途切れることのない思いで、「あなた」を待っていますよということです。忘れることなく、ずっと思い続けているという意味が込められています。動作であるとともに、心の様態も表すところに「待つ」という言葉の本質があります。

また「待つ」は、「時間がかかっても」「辛抱強く」「いつまでも」「見放すことなく」といった表現と相性の良い言葉です。だから「待つ」は、なかなか容易なことではありません。

四十年前のお正月に、実家の寺で私を待っていてくれた母は、今はお浄土にいて、私を待っています。



お浄土はわたしたちのふるさとである。そして、

俱会一处(『阿弥陀经』)

の土地である。娑婆世界で親子となり、夫婦となり、友人となり、隣人となって縁を結んだ人々が、俱にお浄土という一つの処で出会う。お浄土はそのような土地である。

別れはある。別れそのものが、娑婆の掟なのだ。

でも、……。

わたしたちは、再びお浄土で出会うのだ。

お浄土は「俱会一处」の土地である。

わたしたちは娑婆で悲しい別れを体験し、お浄土で再会の喜びを味わう。

お浄土は、わたしたちのふるさとである。

ふるさとには、やがて皆が帰ってくるのだ。

わたしたちは、そのような「ふるさと」を信じたい。そのような「ふるさと」を信じて、しっかりとこの世の悲しみ・苦しみに耐えようではないか。